



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月12日

上場会社名 株式会社ASNOVA 上場取引所 東・名
 コード番号 9223 URL http://www.asnova.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 上田 桂司
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長(氏名) 加藤 大介 TEL 052-589-1848
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		償却前 営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	902	△4.3	339	△11.2	△121	—	△145	—	△122	—
2025年3月期第1四半期	943	19.1	382	16.7	△35	—	△32	—	△33	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △136百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △19百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△9.89	—
2025年3月期第1四半期	△2.66	—

(注) 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費を足し戻して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	12,768	2,828	22.2
2025年3月期	12,958	2,979	23.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 2,828百万円 2025年3月期 2,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	1.00	—	1.00	2.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	1.00	—	1.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		償却前 営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,262	14.8	958	10.1	△24	—	△103	—	△104	—	△8.44
通期	5,265	23.4	2,453	31.5	405	731.3	266	485.2	101	—	8.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) Qool Enviro Pte.Ltd.、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	12,438,400株	2025年3月期	12,438,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	548株	2025年3月期	548株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	12,437,852株	2025年3月期1Q	12,437,852株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(第1四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調は維持しながらも、米国の関税政策やエネルギー、原材料価格が依然として高位に推移するなど、先行きは不透明な状況が続いております。また、当社の業績に影響を与える国内建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移し、民間投資も、原材料価格の高騰や人手不足による建設コスト上昇が続くものの持ち直しの動きが見られました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、仮設機材のレンタルから販売に至るまでワンストップで行えるサービスの強みを活かし、引き続き顧客満足度の向上に取り組みました。また、2025年4月1日付でASEAN諸国のハブとして最適な立地であるシンガポール共和国に所在するQool Enviro Pte.Ltd.の全株式を取得し、完全子会社化いたしました。なお、当第1四半期連結累計期間においては貸借対照表のみを連結しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、前年同四半期の販売特需の影響等により売上高は902百万円(前年同期比4.3%減)、株式取得後のPMIにかかる一過性費用の発生等により営業損失121百万円(前年同期は営業損失35百万円)、経常損失145百万円(前年同期は経常損失32百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失122百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失33百万円)となりました。

なお、当社グループはレンタル関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

第1四半期連結会計期間末の総資産は、12,768百万円となり、前連結会計年度末と比べ190百万円減少いたしました。この主な要因は、Qool Enviro Pte.Ltd.の株式取得に伴う資産受入による増加1,266百万円、のれんの計上による増加1,310百万円、また、Qool Enviro Pte.Ltd.の全株式取得等による現金及び預金の減少1,791百万円、賃貸資産の減少306百万円によるものであります。

負債合計は、9,940百万円となり、前連結会計年度末と比べ39百万円減少いたしました。この主な要因は、Qool Enviro Pte.Ltd.の株式取得に伴う負債受入による増加570百万円、短期借入金及び長期借入金の返済による減少489百万円等によるものであります。

純資産合計は、2,828百万円となり、前連結会計年度末と比べ150百万円減少いたしました。この主な要因は、期末配当12百万円の支払及び親会社株主に帰属する四半期純損失を122百万円計上したことによる利益剰余金の減少135百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,182,773	1,391,434
受取手形及び売掛金	640,311	725,234
商品	143,558	181,504
その他	220,221	267,630
貸倒引当金	△205	△3,751
流動資産合計	4,186,659	2,562,052
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産（純額）	5,088,909	4,782,418
土地	2,698,897	2,698,897
その他（純額）	732,361	1,091,591
有形固定資産合計	8,520,167	8,572,908
無形固定資産		
のれん	—	1,310,893
リース資産	—	42,847
その他	44,374	40,650
無形固定資産合計	44,374	1,394,391
投資その他の資産		
その他	237,616	269,010
貸倒引当金	△29,878	△29,500
投資その他の資産合計	207,738	239,510
固定資産合計	8,772,280	10,206,809
資産合計	12,958,939	12,768,861

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,978	71,223
短期借入金	2,200,000	2,043,000
1年内返済予定の長期借入金	2,091,058	2,104,755
未払法人税等	51,253	50,471
その他	234,761	625,246
流動負債合計	4,631,051	4,894,696
固定負債		
長期借入金	5,308,718	4,962,253
繰延税金負債	—	6,832
その他	40,098	76,707
固定負債合計	5,348,816	5,045,793
負債合計	9,979,868	9,940,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	247,477	247,477
資本剰余金	466,128	466,128
利益剰余金	2,275,221	2,139,829
自己株式	△126	△126
株主資本合計	2,988,701	2,853,308
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△9,629	△24,937
その他の包括利益累計額合計	△9,629	△24,937
純資産合計	2,979,071	2,828,371
負債純資産合計	12,958,939	12,768,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	943,499	902,918
売上原価	784,365	776,671
売上総利益	159,133	126,247
販売費及び一般管理費	194,610	248,222
営業損失(△)	△35,476	△121,975
営業外収益		
足場資材売却益	8,805	—
スクラップ売却益	938	467
その他	1,408	2,245
営業外収益合計	11,152	2,712
営業外費用		
支払利息	7,307	24,429
その他	1,097	1,584
営業外費用合計	8,404	26,013
経常損失(△)	△32,729	△145,276
税金等調整前四半期純損失(△)	△32,729	△145,276
法人税、住民税及び事業税	3,443	1,708
法人税等調整額	△3,078	△24,030
法人税等合計	365	△22,322
四半期純損失(△)	△33,094	△122,954
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△33,094	△122,954

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△33,094	△122,954
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	13,378	△14,000
その他の包括利益合計	13,378	△14,000
四半期包括利益	△19,715	△136,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,715	△136,955
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、レンタル関連事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	418,379千円	461,941千円

(企業結合等関係)

(株式取得による会社等の買収)

当社は、2025年3月17日開催の取締役会において、Qool Enviro Pte.Ltd. (以下、Qool社)の全株式を取得し子会社化することについて決議し、2025年4月1日付で全株式の取得を完了いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	Qool Enviro Pte.Ltd.
事業の内容	仮設トイレのレンタル、衛生関連ソリューションサービス

② 企業結合を行った主な理由

当社の主要事業である足場レンタル事業は、翌連結会計年度以降も需要が旺盛であると見込んでおります。しかしながら、1つの事業のみを継続・深化することは、中長期的な観点からはリスクが伴うことから、足場レンタル事業を安定的な事業基盤としながらも、周辺事業や新市場に進出することで、「非連続な成長の実現」を目指すことが、当社の持続的な企業価値の向上には不可欠であると認識しております。また、上記の周辺事業や新市場への進出に際しましては、海外への展開も視野に入れております。特に、ASEAN諸国は今後急成長が見込まれており、既にベトナム社会主義共和国には子会社 (ASNOVA VIETNAM CO.,LTD) を設立し、事業をベトナム各地で展開中です。今後の成長のため、ASEAN諸国は事業展開の強化が不可欠なエリアであると認識しております。上記のとおり、今後の事業展開方針を踏まえまして、この度、Qool社の株式を取得し子会社化するため、株式譲渡契約を締結することを決議いたしました。Qool社は、ASEAN諸国のハブとして最適な立地であるシンガポールにおいて、仮設トイレのレンタル及び衛生関連ソリューションサービスを展開している企業です。Qool社による仮設トイレのレンタル業は、当社の足場のレンタル業の知見・経験を活用することが可能であるとともに、安定的な事業運営が可能であり、収益性も非常に高くなっております。また、シンガポールは今後高齢化により事業承継が増加することが予想されており、現地での積極的なM&A活動の足掛かりにしたいと考えております。当社は、2030年のありたい姿として、「足場レンタル事業が確固たる収益基盤となり新規事業が成長エンジンとして一層の収益拡大を牽引する高収益のグローバルな循環型ビジネスのエクセレントカンパニーでありたい」を掲げております。シンガポールで事業を展開するQool社を子会社化することは、当社が目指していきたい方向性に大きく資することが見込まれることから、Qool社の株式を取得することを決定した次第です。今後も当社はパーパスである「『カセツ』の力で、社会に明日の場を創りだす。」を軸として、持続的な成長を目指してまいります。

③ 企業結合日

2025年4月1日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

Qool Enviro Pte.Ltd.

⑥ 取得する議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得するためであります。

(2) 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、貸借対照表のみを連結しております。このため、被取得企業の業績は含まれておりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	2,013,390千円
取得原価		2,013,390千円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

仲介手数料等 131,714千円

(5) 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額

1,310,893千円

② 発生原因

取得原価が受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その差額をのれんとして計上しております。なお、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分は完了しておらず、のれん金額は暫定的に配分された金額であります。

③ 償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(6) 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内容

流動資産	746,324千円
固定資産	519,886千円
資産合計	1,266,210千円
流動負債	438,442千円
固定負債	132,021千円
負債合計	570,463千円